



日時：2006年8月25日(金)・26日(土)
10:00～17:00

場所：さいたま市プラザイースト（緑消防署隣）

私たちは、次のような目的をもって活動をしている、東浦和中学校・大原中学校・中尾小学校の生徒・卒業生、地域の有志ボランティア団体です。さいたま市国際交流協会・さいたま市国際NGOネットワークに加盟しています。

世界に目を向け、自己と世界との関わりについて考えるきっかけづくり。
より良い社会作り、未来作りのために、今、自分たちのできることを考える。

今年も、恒例のイベントを行います！子どもから大人まで、参加しながら学べます！！

世界を知ろう～一緒に考えませんか？

紙芝居や絵本の読み聞かせやワークショップをしています。みなさんも世界の問題について考えてみよう！

さまざまな資料の展示、クイズ、メッセージコーナーもあります。

主な内容

「地雷ではなく花をください」「世界がもし100人の村だったら」
「数字で知ろう、世界の国々」「フォトランゲージ」
「貧困はどこから」「二頭の口バ」 など

海を越えての交流

ネパール・チャド・中国・アフガニスタンなど海外の子供たちと絵や手紙の交流をしています。みなさんも電子メールでは味わえない心のぬくもりを感じてみませんか？

身近にできる国際支援

使用済みテレホンカード・各種プリペイドカード、書き損じはがき、使用済み切手、文房具は、どのように国際支援につながっているのだろう？わかりやすく説明しています。イベント当日は、それぞれ実際に回収して、支援団体へ送っています！

代表連絡先

金子
三浦
阿部

Web、E-Mail

「世界に目を向けよう～今、私たちにできること～」
http://m-naoyuki.cool.ne.jp/worldfriends/world_friends_saitama@hotmail.com

「世界に目を向けよう～今、私たちにできること～」 実行委員会の紹介

代 表

金 子 玲 子

三 浦 直 行

目 的

当会は、次のような目的をもって活動している。

- ・世界に目を向け、自己と世界との関わりについて考えるきっかけづくり。
- ・より良い社会づくり、未来づくりのために、今、自分たちのできることを考える。

あゆみ

「世界に目を向けよう～今、私たちにできること～」は、1993年、浦和市立東浦和中学校教諭（当時）であった金子玲子氏の平和へのあふれる思いから、顧問をしていた男子バスケットボール部などが中心となって浦和コルソにて写真展を開いたことから始まった。翌年には選択教科ワールドスタディーズや生徒会なども加わり、世界の現実を学習し、自分達にできることは何かということを考える仲間を広げた。その後も、問題意識をもち共に考えていきたいという卒業生などの有志が多く集まり、学年・年齢を超えた活動へと発展してきた。

「世界に目を向けよう～今、私たちにできること～」のあゆみ

1992	ネパールへ現状を視察に行く（金子先生）
1993	浦和コルソ、蓮田で写真展（男バス他）
1994	浦和東電ホール（選択教科ワールドスタディーズ・生徒会他）
1995-96	浦和市立尾間木公民館（卒業生＋在校生）
1997-98	浦和市プラザイースト（英語部＋卒業生＋在校生）
1999-2000	浦和市プラザイースト（英語部＋卒業生＋在校生＋保護者）
2001	さいたま市プラザイースト（生徒会＋卒業生＋在校生） 毎月第三土曜日に、尾間木公民館にて学習会を始める。
2002	さいたま市国際交流協会に加盟する。 さいたま市プラザイースト（生徒会＋卒業生＋在校生）
2003	さいたま市プラザイースト（生徒会＋卒業生＋在校生＋ボランティア） 学習会実施を毎月第一・第三土曜日に変更 さいたま市立尾間木公民館文化祭 さいたま市国際交流協会・ボランティア養成講座講演（市民会館うらわ）
2004	さいたま市プラザイースト（生徒会＋卒業生＋在校生＋ボランティア） 尾間木地区文化祭参加（尾間木公民館）
2005	さいたま市国際NGOネットワークに加盟 日本国際理解教育学会第15回研究大会にて活動報告 さいたま市プラザイースト（在校生＋卒業生＋ボランティア） さいたま国際わくわくフェスタ（桜木小学校） ユース国際ボランティア養成講座にて活動報告 ユニセフ ハンド・イン・ハンドに参加
2006	さいたま市国際交流協会研修会に参加 さいたま市国際NGOネットワーク総会に参加

： イベント開催

活 動

当会は上記の目的に基づき、「世界を知ろう」「海を越えての交流」「身近にできる国際支援」という三本の柱を掲げて活動している。「私たちにできること」とは、まず、世界を知ること。そして、その知識をより多くの人と共有し、共に考え、個々人の意識を高めること。そうした中で、自分たちにできることはないか考え、身近なところから行動することである。

そのような理念のもと、2001年9月から行っている定期学習会では、個々人の調査資料や考えを持ち寄ったり、また学習教材に取り組んだりしながら、常に問題意識を持つとともに謙虚な気持ちで、知識の共有と考えの深化を試みている。また、現在まで10数年にわたって年一回行ってきたイベント発表は、学習してきた内容を会の中だけで終わらせるのではなく地域にうったえることで、知識をより多くの人と共有し、共に考えていきたいという思いから行っている。